

夢ふくらむ

20歳の意識

昨年、一番の流行語は「新人類」でした。価値観や行動様式、言葉使いまで、現代の若者の正体をつかみきれない「旧人類」がその不気味さをからかい気味に使い出した言葉だそうです。

しかし、コンピューターにものおじしい適応性や、豊かな国際感覚を身に付けているのも今の若者たちで、21世紀に向けて大きな期待が寄せられています。

さて、入善町の若者は今、何を考え何を行政に望んでいるのでしょうか。成人式でアンケート調査してみました。

アンケート方法

成人式当日、100人の新成人にアンケート調査をしました。

男……40名

女……60名

■あなたの職業は

自営業1人

会社員 59人

学生 33人

その他
7人

質問内容は、

●将来、入善町をどんな町にしたいですか。

●これから町が力を入れる必要のあるものはなんですか。

●20歳の若さをどこにぶつけますか。

か。といったものです。

「将来、入善町をどんな町にしたいですか」との質問には、文化的な町にしたいと答えた人が最も多く、若者らしさが伺えました。しかし、今のままでよいという現状満足型や、分からないという無関心型も多く、両方合わせると4割以上になりました。

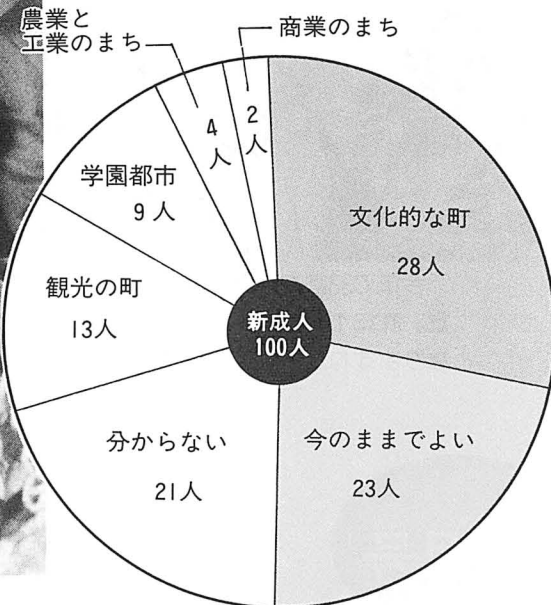
私たちの町だから

思いきり魅力的に

1月15日は成人の日。町では今年336人（男148人、女188人）が大人の仲間入りをしました。

今月は、成人式のアンケート調査をもとに、現代の若者たちが考える町の将来像や、町に対する要望を取り上げてみました。

■将来、入善町をどんな町にしたいですか

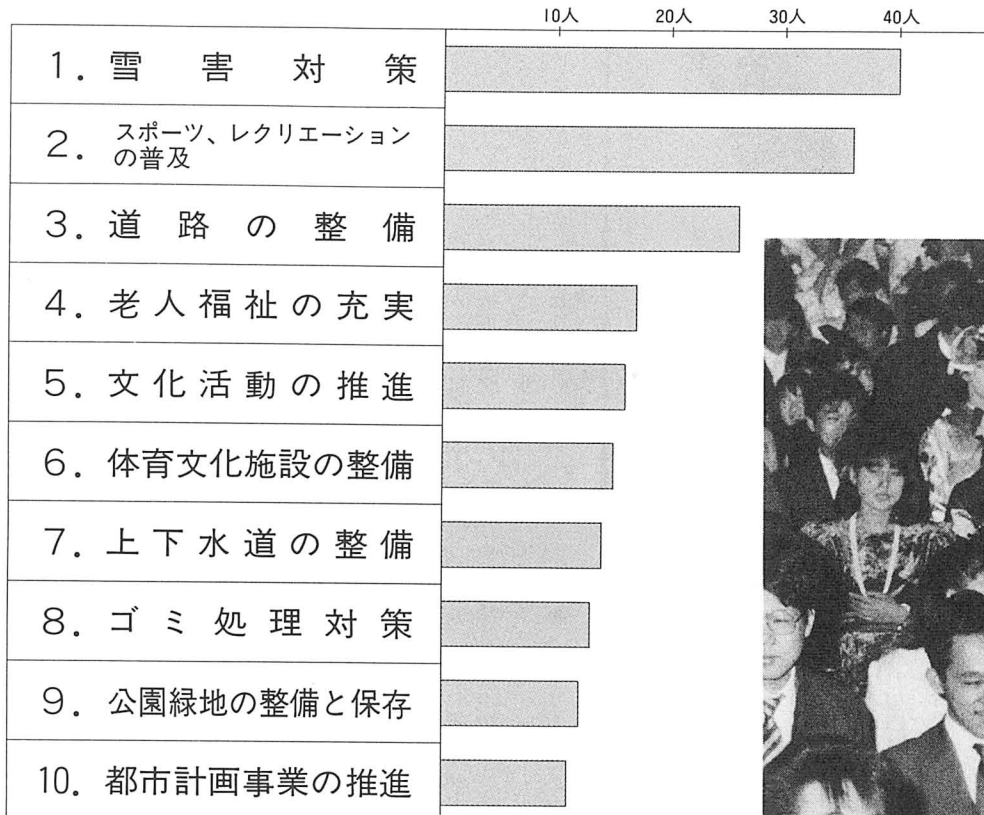


(1月15日、コスモホールでの成人式)

外来語に強くなる

近年、マスコミなどで頻繁に使われる外来語を取り上げ、その意味を紹介していきます。今月は「ト」「ナ」「ニ」「又」行です。

■これから町が力を入れていく必要のあるものは（1人で3項目選択）



以下、住宅対策、企業誘致対策、農業の振興、交通安全対策などがあげられました。

雪害対策が
要望のトップ

「これから町が力を入れる必要のあるものは」との質問には、雪害対策がトップ、以下、スポーツ・レクリエーションの普及、道路の整備と続きました。

この質問は、昭和57年に町の新総合計画を作成するために行った全世帯アンケート調査と同じ内容で、前回のアンケート調査では、

1位 雪害対策

2位 保健医療の充実

3位 農業の振興

4位 道路の整備

5位 老人福祉の充実

といった順でした。今回の新成

人のアンケート調査でも、雪害対策、道路の整備、老人福祉の充実は要望が高く、年代を問わず関心が高いことを示しています。

若者の意見を反映したものととして、文化活動の推進、体育文化施設の整備、公園緑地の整備と保存など、前回のアンケート調査では14・18・20位だったものが、10位以内にいずれも入ってきたことが上げられます。

そのほか、上下水道の整備やゴミ処理対策などの環境衛生や、入善駅前から8号線へ抜ける都市計画道路の早期着工を望む声も高かったようです。

（次のページに続きます）



▲どの顔も輝いてみえます。



臼森寿美代さん
(入善17区・20歳)

3月に金沢の短大を卒業し、4月から社会人になります。学生時代は同世代の人たちばかりの付き合いで気楽でしたが、社会に出

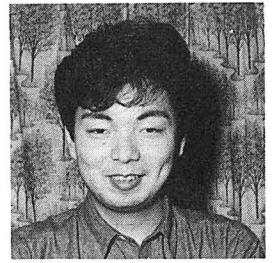
人間関係を

広げたい

ば先輩たちばかりで、仕事の責任もついて回るため、期待と不安が入り交じっています。地元で就職したかったのですが、就職難ということもあって富山市内の会社へ勤めることになりました。まだ就職の決まっていらない友人もいますし雇用対策に力を入れてもらいたいです。

琴やお茶、スポーツなど、いろんなことにチャレンジしてみたいし、たくさんの方たちを作って人間関係を広げていきたいと思っています。

若者がたくさん集まるようなイベントをどんどん企画し、町の活性化を図ってほしいですね。



橋本政明さん
(横山1区・20歳)

自分の責任で

行動したい

会社就職して2年目。仕事のミスで上司に怒られてから、自分も一人前の大人として認められているんだと自覚しました。

20歳になったと感ずるのは、前タバコを吸ったり、酒を飲んだりできることです。ただ、今までと違って自分の責任で行動しなければなりません。よく20歳ごろは一番いい時期だと言われますが、大人の仲間入りをするという一方で、逆に一番大変な時期ではないかと思っています。

町政にはあまり関心を持ったことはないのですが、選挙権を得たことだし、これから社会勉強をしていかなければならないでしょうね。物事に失敗しても、あきらめないで毎日一歩ずつ努力していく人間になりたいです。

若者たちは、いま…

町政には

関心が低い

それでは、今の若者は入善町をどのように考えているのでしょうか。どこに魅力を感じるか、また感じないのか、インタビューしてみました。

●「あまり考えたことはありません。別に不満ということもないし……」(男性)

●「新川地区の中では割と活気が出てきたんじゃないですか。町民会館もできたことだし、文化活動にもっと力を入れてほしいと思います」(女性)

●「若い人たちの意見を吸収できる場がないですね。青年団にはあまり魅力を感じないし、なんとなく入りづらい気がします」(男性)

●「住みやすいと思います。ただ、雪が降って通勤に困ることはありますね。除雪にもっと力を入れてほしいです」(男性)

●「総合病院がないのが不便。黒部まで行かなければならないし、安心して暮らすためには医療施設を整備することが大事ではないで

しょうか」(女性)

●「体を鍛えるための施設、たとえば体育館など、もっと気軽に使えるようにしてほしい」(男性)

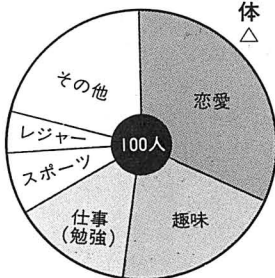
* *

たくさんの方の要望がありました。あまり考えたことがないと答える人も多かったようです。20歳といえば、まだ学生の人や、社会人になって2年ほどしか経っていないということも考え合わせると、まだまだ町政に対する関心は低いようです。

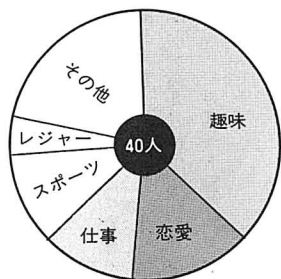
趣味や恋愛で

有意義に

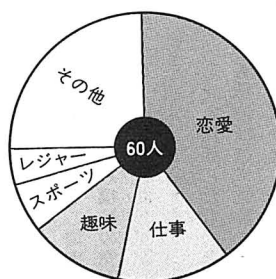
■20歳の若さをどこにぶつけますか。



▼男性▲



▼女性▲

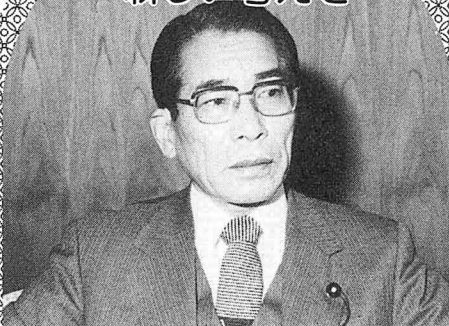


「20歳の若さをどこにぶつけますか」との質問には、恋愛、趣味と答えた人が多く、次に仕事や勉強と答えた人が続きました。

男性では趣味と答えた人が3割以上、女性では恋愛と答えた人が4割以上いました。

仕事や勉強に一生懸命打ち込むよりは、趣味や恋愛で有意義な時間を過ごしたいという現代の若者像を浮き彫りにしたようです。

現状に満足することなく 新しい考えを



県議会議員

笹島 太一 氏

いつの時代でも若者は未来を切り開いており、町が発展するためにも、みなさんに大きな期待がかけられます。

今の若者は自己中心的で、自分の殻に閉じ込められがちだと言われていますが、地域の発展のためにもボランティア活動などに積極的に参加してほしいし、こういう町を作り上げたいという意識を持ってほしいと思います。

若者たちにとって魅力ある町づくりを進めるためには、文化面での企画・運営も大切ですが、スポーツの振興にも力を入れていく必要があるでしょう。運動公園に総合体育館を作り、スポーツのメッカにすることやスポーツの指導者を育成することはこれからの町づくりに欠かせません。

ただ、権利ばかり主張していて義務を怠るのは論外です。行政になんでも押し付けるのではなく、自分たちのやるべきことは自分たちでやるという考え方が大切だと思います。現状に満足することなく、常に新しい考え方で21世紀に向けた町づくりを進めてほしいものです。

■学生の人に聞きました。将来、入善町に
戻りたいですか。

戻りたい		戻りたくない
男性10人	女性11人	女性12人

戻りたくないと答えた理由は…

- 就職先がないから……………6人
- 文化的に遅れているから……3人
- 都会に住んでみたいから……2人
- 友だちがないから……………1人

「学生の人で将来、入善町に戻りたいですか」との質問には、男性が全員戻りたいと答えているのに対して、女性では5割以上の人が戻りたくないと答えています。その理由に、就職先がないからと答えた人が5割もいることが分かりました。

古い殻を破り、 21世紀へ

現状満足型が 多いけれど…

若者が何を考え、どのように行動しようとしているのかを探る調査は、今までたくさん行われてきています。

昨年、総務庁が15歳から23歳の男女3000人を対象にした調査で、特に目立ったこととして上げられたのが、「現在に不満はありません」という現状満足型の青少年が、過去4回の調査で初めて過半数を超えたということです。

また、全国世論やアンケート調査でも、「今のままでよい」「分らない」と答える若者が多くなっているようです。

今回、入善町の新成人に対するアンケート調査でも、現状満足型が多いように見受けられました。ただ、「町が力を入れていく必要があるもの」との質問には、若者らしい要望も随所に見られたようです。車社会を反映したと考えられる雪害対策や道路の整備。体を鍛え健康的な暮らしをしたいというスポーツ・レクリエーションの普及や体育文化施設の整備。さ

らに町民会館のオープンにより、文化意識が一層高まり、これからの企画・運営に力を入れてほしいという文化活動の推進。高齢化社会を意識しての老人福祉の充実など、町の抱える諸問題を的確に指摘したといえるでしょう。

また、学生に対する質問で、就職先がないため入善町に戻りたくないと答える人が多かったことも指摘されます。就職難ということもあるでしょうが、町の将来を担う若者の雇用対策にも十分に力を入れていくべきだと思われます。

新世代にふさわしい

町づくりを

古めかしい建て前の殻を破り、自分たちの欲求や本音に忠実に生きること。仕事や勉強にばかり打ち込むのではなく、休暇を趣味やレジャーで有意義に過ごすことなどは、日本人全体に求められている社会的な風潮の現われとも言えるのではないのでしょうか。

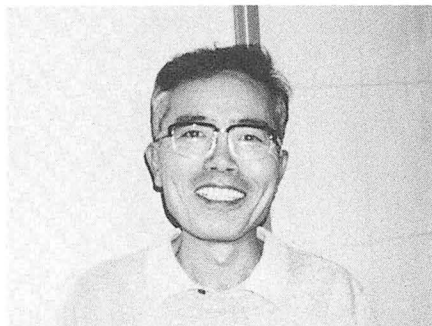
21世紀を間近に控え、今の若者が社会の中核を形作っていくことになりました。新世代にふさわしい町づくりをみなさんの手で創造してほしいものです。



は — まず自己紹介を —
小林 出身地は山梨県の上九一色村です。特産物にはブドウと印鑑に使われる水晶があります。富士5湖が近くにあり、観光客で毎年にぎわいますね。武田信玄祭りや富士吉田の火祭りなど古くから伝わる祭りも多いです。
富山へ住もうとしたきっかけ

そとから見たにゅうぜん

富山県立技術短大の農学科助教授、小林哲郎さんは集落営農をテーマに入善町と砺波市を対象とした比較研究をしておられます。



首を長くして待ってました 新屋保育所が完成

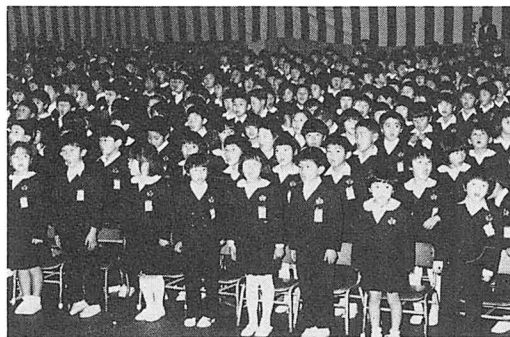
老朽化が著しいため、昨年の8月から改築していた新屋保育所が完成、1月14日に竣工式が行われました。

帽子の形をした新しい保育所。「天井が高くして廊下もないし、遊戯室が広くて使いやすい」「障子戸があり、家庭的な雰囲気を楽しみやすい建物です」と評判も上々のようです。

どの顔もウキウキ気分 飯野小学校の落成式

一昨年の飯野小学校校舎の完成に続いて、建設中の体育館がこのほど完成し、昨年の12月22日に落成式が行われました。

体育館はバレーボールコートが2面とれ、天井も高く子どもたちは大喜び。当日は児童や関係者ら約800人が集まって祝福。将来を担う子どもたちの教育の場として期待されています。



年々厳しさを増す漁業。県内のトップを切って大漁祈願祭と出漁者壮行会が、1月10日福祉会館で、漁業関係者など約100人の参加のもと行われました。

色とりどりの大漁旗に取り囲まれ、今年1年の大漁と、漁業に従事する人たちの安全操業を祈願しました。

大漁祈願祭、出漁者壮行会

豊漁を祈って

かめら・とぴつくす カメラ・トピックス かめら・とぴつくす

住所氏名年齢世帯主

おくやみ

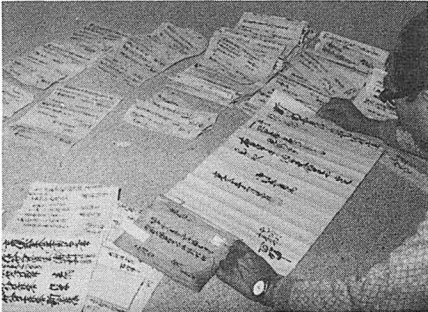


住	上野	上野	下飯野新	福島	東島	青島	墓ノ木	上野	藤原	道古	浦山新	入膳	横山	横山	上野	上野	浦山新	上野	神林	東島	蛇沢	上野	上野	住野
氏	目澤	目澤	南保	福澤	飯作	松田	西島	板川	吉原	屋木	中易	目附	野口	永山	花井	五十	野寺	西島	永原	山田	滝本	元安	林	保護
名	晴彦	晴彦	均	宗伸	武俊	英二	信幸	修一	裕志	正司	敏宣	和久	清治	勝己	広明	里伸	幸栄	有彦	隆俊	雅祥	善則	謙三	敏	者
年	三男	二男	二男	二男	長男	長男	長女	二女	長女	長男	二女	長女	二男	長女	長男	長男	長女	長女	長男	長女	長男	二女	長女	続柄
世	雄	俊	雄	真	晃	洋	綾	雪	志	優	垂	貴	友	広	勇	礼	芙	大	千	靖	晴	香	名	前
帯	平	平	輝	也	平	一	乃	子	織	兵	光	弘	理	志	貴	佳	季	輔	里	大	嘉	子	子	

おめでた



ふるさとの歴史 3月号からスタート



▲江戸初期ごろの古文書も豊富です。

歴史という言葉は、ふつう過去に起こった一連の事実の経過を意味しますが、私たちが実際に見聞した事実ならともかく、過ぎ去ったことをそのまま認識することはできません。

文字史料が残存するようになるのは、一般的に中世のころからです。入善町には約300年前からの史料が残っていて、町民会館にある入善町史編さん室には1万点近くの史料が収集してあります。

これらの史料は、当時の村々の各層のみならず、さまざまな社会的、経済的变化を知らせてくれます。土地を集積して大きく繁栄していく農民と、土地を手放して没落していく農民の姿が、ありありと描き出されている史料もあります。

広報では、次号からシリーズで「ふるさとの歴史」をテーマとして、過ぎ去った事象を顧み、私たちの祖先が歩んできた道のりを大きな時代のうねりとともに認識してみたいと思います。

執筆陣は町史編さん委員の諸先生方です。どうぞご期待ください。

みなさんの家にも 眠ったままになって いませんか

町では、歴史的な文化遺産として古文書などを調査、記録し、後世に語り継ぎたいと考えています。お持ちのかたはぜひお知らせください。

入善町史編さん室（町民会館2階） ☎72-1100内線631

小林 短大農学科の育ての親である松山教授（昭和52年に定年退職）の取り持つ縁で、昭和43年に富山にきました。九州大学大学院で農業経営を専攻しており、全国でトップクラスを誇る県内の水稲、球根栽培を始めとする複合経営を研究することで、入善町や砺波市独自の米づくり、転作対応、地力づくりが理解できるのではないかなと思っています。

——これからの抱負を

小林 豊かな水と広い平野、そして海の幸、美しい山と自然に恵まれている富山県が気に入りました。長女には立山連峰の峰をとって峰子、長男には富山の富をとって富雄と名付けたんですよ。

富山にずっと住んで、これから富山の農業の発展に少しでも役立つことができればと思います。

ピリリと辛の味を

ワサビ作りに励む



「刺身につけて食べるのを楽しみにしています」と笑いながら話す橘清さん（上飯野・37歳）。

40年ほど前からあった板屋のワサビ田を復元しようと、昨年8月から畝作りを始め、11月には長野県の穂高町から7,000本の苗を購入し植え付けしました。ワサビは豊富な地下水ときれいな水、木陰があることが必要。

「名水百選に選ばれたわき水で育てたワサビは自慢できると思います。自然の大切さをワサビ作りで改めて痛感しました」と話す橘さんでした。

かめら・とびこいす カメラ・トビックス かめら・とびこいす

舟	下	青	下	下	上	吉	小	舟	上	青	吉	舟	芦	吉	君	舟	若	芦	舟
見	飯	野	飯	飯	野	原	摺	見	野	宿	木	原	崎	原	島	見	栗	崎	見
米	野	森	宮	西	長	柏	寺	三	松	柳	広	横	轟	山	車	室	東	浦	梨
山	坂	下	本	尾	谷	原	林	賀	田	澤	川	田	田	田	室	室	城	田	木
慶	武	夫	キ	勇	与	次	操	由	栄	匠	つ	み	き	文	ハ	ひ	将	秀	正
79	76	68	49	47	58	80	58	84	92	53	83	87	44	84	70	66	91	72	62
本	義	憲	清	与	本	き	忠	博	善	光	善	敏	ケ	与	キ	幹	繁	実	き
人	衛	二	一	四	人	く	彦	久	次	子	一	男	子	吉	エ	夫	作	彰	磨

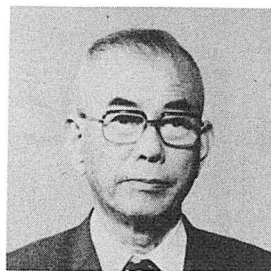
（1月15日受付分まで）

町民会館に寄せて



町民会館がオープンして8ヶ月。いろんな話題を提供していますが、昨年の11月12日、コスモホールで開かれた「ポリシヨイ劇場室内アンサンブルコンサート」を鑑賞された2名の感想文を紹介します。

町民のための運営を



竹中 祐博さん
富山県民会館文化友の会副会長
(富山市在住)

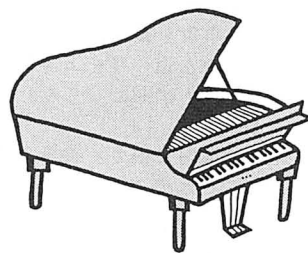
係の設備などの利害が互いに相反する点が多いので、双方ともに満足させることは難しい。結論として、どちらに重点を置くかということを決断することがホールの運営を左右することになる。

言うまでもなく、「ホールは大切な楽器である」と言われているように、音楽は特に音響に留意することが必須の条件である。昨年の5月にオープンした入善町民会館は560席の中ホールで、コンサートホールとして、しみじみとした音楽的な響きを満遍なく行き渡らせる手ごころなホールだと思う。

このところ砺波市、新湊市を始め、県内各地に文化活動の拠点として、それぞれの工夫を凝らした「文化ホール」が相次いで建設された。各公共団体が、思い思いの企画を立てて活発な運営を行っていることは「地方の時代」として、誠に心強いことである。

ただ、音楽・演劇・講演など、さまざまな目的を持った催しが同一のホールで行われることから、使用に当って不本意なことや不便なことが起きて、当事者の頭を悩ませることが考えられる。特に音楽や演劇の場合は、音響や舞台関

して、音楽・演劇・講演など、さまざまな目的を持った催しが同一のホールで行われることから、使用に当って不本意なことや不便なことが起きて、当事者の頭を悩ませることが考えられる。特に音楽や演劇の場合は、音響や舞台関



独唱者にしろ、室内アンサンブルにしろお国ぶりの音楽はスラブ特有の広漠とした平原を思わせる野性味をしみじみと感じさせた。ただ、シューベルトの歌曲は今まで聴き慣れたドイツ・リートとはひと味違った曲趣を感じさせた。また、室内楽のピアノがときには響き過ぎて、いささか耳障りになった。事前に演奏者がホールの「特性」をテストしておく用意が必要である。

ところで、このホールの「存在価値」は今後の運営いかにあると思う。文化は行政の側にあるのではなく、町民の側にある。常に「町民のため」に密接な交流を図り、いつでも、だれでも気軽に利用できる地域に根ざした運営に努めてもらいたい。性急な効果を求めることは禁物で、長い目で高い視野に立った運営を望みたい。

*ドイツ・リート：ドイツの歌、13世紀ごろに成立した特定の歌曲。

お知らせ

通信講座で学習を

NHK学園では、生涯学習講座の春の受講生と高等学校の生徒を募集しています。

▽生涯学習

申込受付：2月15日～4月15日

▽高等学校普通科コース

申込受付：3月1日～4月15日

▽高等学校教養コース

申込受付：3月1日～4月30日

▼詳しい案内書をご希望のかたは〒930富山市新総曲輪3の1NHK富山放送局 ☎0764(32)1155まで連絡してください。



募集

歩くスキートの参加者を

▼期日：2月8日(日) ▼時間：役場前に午前8時集合 ▼コース：舟見寿楽苑→水口→中谷林道 ▼参加資格：小学校3年生以上 ▼携行品：歩くスキー用具一式、防寒具、弁当など ▼参加費：1000円 ▼申し込み：2月6日(金)まで社会体育係 ☎72-11000内線613へ ▼その他：スキー用具のない人は、申し込み時に連絡を。

窓の善意

あたたかいご芳志に感謝いたします。

入善町善意銀行（敬称略）

◆社会福祉事業基金に

（12月12日～62年1月10日）

小 杉	小 杉 元 義	10,000	円
櫛 山	中 川 良 平	10,000	
横 山	草 伊佐松	10,000	

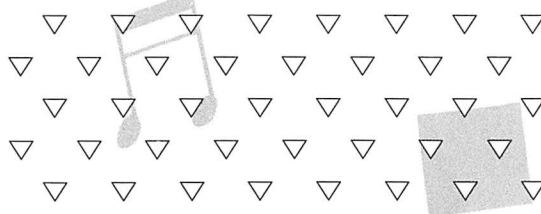
◆社会福祉事業資金に

横 山	尾 山 アキエ	10,000	円	} 拾得報償金を
朝日町	松 山 繁	1,000		
入 膳	川 畑 博 規	2,000		
"	(株) オギハラ	100,000		歳末義援金として
"	入善地区同盟	37,935		"
野 中	野中小学校児童会	24,001		"
	会長 小松 雅郁			"
	上青小学校児童会	15,000		"
	普明会教団高岡支部	50,000		"
	ボーイスカウト入善第1団	31,593		} 歳末たすけあい街頭募金より
	ガールスカウト川瀬 律子	10,000		
新 屋	早 川 盛 義	30,000		
入 膳	川 畑 キ ヨ	2,383		亡あえの供養として
上 野	金 沢 直 道	4,685		小銭を貯めて
田ノ又	坂 東 賢	2,850		"
青 島	大 角 正 次	1,000		
	野 口 スミオ	2,116		
	THE NEWS(企画)	10,000		チャリティコンサートの一部を 両親不在の
	(代) 寺崎 悟			恵まれない子供へ
	北陸銀行入善支店	6,800		愛の募金箱より
古黒部	スナック&喫茶 伽 羅	9,079		お客様の厚意のつり銭を
舟 見	三 賀 博 久	50,000		亡由通の供養として
	入善町農協	1,126		愛の募金箱より
	上原支所	2,401		"
	青木支所	5,111		"
	飯野支所	684		"
	小摺戸支所	2,671		"
	新屋支所	1,530		"
	櫛山支所	1,593		"
	横山支所			"

◆物品の部

（11月18日～62年1月10日）

東 狐	川 瀬 秀 雄	使用済切手 1,063枚	舟見寿楽苑へ 上青小学校、入善小学 校、入善幼稚園へ 新川むつみ園へ
小 杉	火 曜 クラ ブ	" 323枚	
浦山新	新川むつみ園	" 134枚	
入 膳	入善駅前郵便局	" 500枚	
中 沢	金 山 寿 志	" 17,500枚	
入 膳	前 田 比奈子	" 800枚	
横 山	農協横山支所	" 297枚	
入 膳	近藤歯科クリニック	" 1,950枚	
舟 見	舟 川 直 久	" 1,810枚	
"	花 房 自 転 車	介助用車椅子 1台	
柳 原	白 雪 会	お手玉 300個	
"	"	タオル 100本	



大沢 欽治さん

富山大学名誉教授
（富山市在住）

百聞は一見にしかず

先日の演奏会はさすがにソ連一流のかたがたのアンサンブルやソロで、長時間の大サービスを十分に心から鑑賞し満足して帰りました。

夕刻の光の中に浮ぶコスモホールは実に美しく、入口付近の通路はいかにも芸術的な雰囲気を感じていました。

調和する宇宙「コスモ」に相応したことを思いながらホール内に導かれました。ホールのかなり後列で鑑賞しましたが、音響についてはこれまた満足でした。ピアノについては、かなりボリュームある演奏でいくらか抵抗感がありました。

したが、プログラムが進むに従って調和していくようになり、本当に良く研究された構造と表現を感じました。

先にウィーンの合奏団や、中村紘子さんの演奏会など国内外ともに一流のかたがたの演奏会を企画し、実践されることに深く敬意を表します。貴町や地域において、まさに文化の革新が始まったかのようになさを感じました。

音楽や芸術振興にいたっては、まさに百聞は一見にしかず」ということになりました。どうぞ今後のご発展を心からお祈り申し上げます。



案内

郷土史の講演会を受けてみませんか

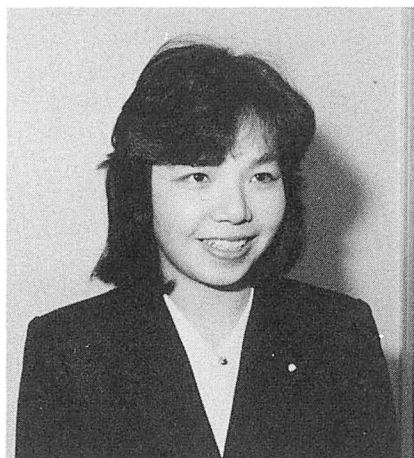
「古文書にみられる入善町の歴史」と題した講演会が開かれます。

▼日時：2月28日(土)午後2時から

▼場所：町民会館視聴覚室▼講師：郷土史家・奥田淳爾(桜井高校教諭)▼主催：図書館▼入場は無料です。多数の参加をお待ちしています。

今月の さわやかさん

No.38



藤谷好美さん

入善町商工会勤務
(田中・21歳)

富山女子短大を卒業して、昨年の4月から商工会に勤めています。短大では商業経済を専攻したので、学んだことを仕事に生かしてみたいですね。

保険加入の取り扱いや、ガソリンなどの伝票整理が主な仕事です。初めのお客さんが来られても、気恥ずかしくてうまく対応ができなかったり、お客さんの顔を覚えるのに必死になったりしていました。ようやく仕事にも慣れてきてこれからは記帳の機械化のシステムを習っていききたいと思っています。

お花を3年前から習っています。正座をするのが苦手なのですが、長く正座ができるようになります。お茶も習ってみたいです。

1年前から友だちと旅行に行こうと計画しているのですが、なかなか実現できなくて……。北海道か沖縄にぜひ行ってみたいです。

男らしい人が理想の男性です。

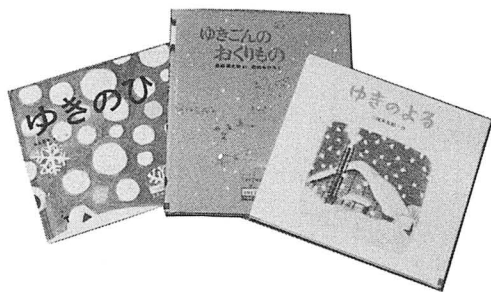
あなたと 図書館

雪の絵本と童話を 子どもと一緒に

「ゆきごんのおくりもの」(長)

この冬は、ようやく降ってきた雪に、おもわず「待っていましたよ」と、声をかけたくなるような遅い雪の訪れでした。雪国に住む私たちにとって、雪は不便をかこつことも多いけれど、やはりなくてはならない友だちのようなものではないでしょうか。ついついと雪景色をながめているかたも多いことと思います。

ところで、雪の一番の友だちはなんといっても子ども。そこで、図書館では、雪をテーマとした絵本や童話などを集めて展示しました。お子さんと一緒にぜひ、ご覧ください。



新着図書案内

〈小説〉

独眼竜政宗(上・下) 早乙女貢
死霊(シレイ) 8章 山田太一

挑戦者たち
アメリカ乱入事始め

山下洋輔

〈一般図書〉

女たちのまつり(上・下)

宮原昭夫

極道の妻たち

家田莊子

堀の中の懲りない面々

安部譲二

大前研一の新・国富論

大前研一

大人のおしゃれノート

大橋 歩

ふとる健康法

佐藤三蔵

日本人が外に出るとき

犬養道子

六、八、九の九

永 六輔

落合信彦

山下洋輔

疾れ！逆ハンぐれん隊

死海の伏流

五木寛之

虎口からの脱出

森村誠一

冬こそ獣は走る

景山民夫

癌病船応答セズ

北方謙三

ラブ・ソングが聴こえる部屋

西村寿行

川西 蘭

今月の人口

人口	30,085(+29)
男	14,395(+18)
女	15,690(+11)
世帯数	7,750(+8)
() 内は前月比	
12月末日現在住民登録	

編集室

▼今月の特集は「新成人に聞く」。アンケートに答えてくれた人にはスナップ写真を一枚上げますと呼びかけたところ、希望者が殺到して、汗だくになってシャッターを切りました。

▼写真を撮っていて目に付いたのが女性の着物姿。ある人の集計では、女性の2人に1人が着物姿だったということです。

▼簡素な服装で成人式に参加してくださいと呼びかけているのにもかかわらず、「一生に一度のことだから」とか「あの人も着ていくのだから」といった声が聞こえてくるようです。

▼成人式の和服姿についてどう思いますかと新成人に質問したところ、本人の自由と答えた人がほとんど。自分の服ぐらいは自分で決めるといった心意気でしょうか。

▼和服を着る機会が少なくなった現在、成人式の日ぐらいは和服で日本人らしさを満喫してもよいのかもしれませんね。